

## スーパータイブレークについて

1. 春季、夏季、新進、室内、冬季すべての中四国の個人戦のダブルスのみ適用する。  
中国四国学生テニスリーグ戦においては適用しない。
2. ファイナルセットの代わりに 10 ポイントマッチのタイブレークを行う。
3. 細かい規定については「JTA TENNIS RULE BOOK」の 31 ページの「3. マッチタイブレーク(10 ポイント)」の部分を参照してください。

### マッチタイブレーク (10 ポイント)

セットスコアが 1 セットオール、または、5 セットマッチで 2 セットオールになった時はそこで、タイブレーク・ゲームを行って、試合の勝者を決める。このタイブレーク・ゲームは最終セットの代わりとなる。

相手より 2 ポイント以上離して先に 10 ポイント取った方が、このマッチタイブレーク方式の勝者となり、同時に、この試合の勝者となる。

注： 最終セットの代わりにマッチタイブレーク方式を採用する場合は、

- サービスの順番は最初に決められたとおり続ける（規則 5、規則 14）。
- ダブルスチーム内のサービスまたはレシーバーの順番は、各セットで変えることができる。（規則 14、規則 15）
- マッチタイブレーク方式を始める前に、120 秒のセットブレークがある。
- マッチタイブレーク方式の時に、ボールチェンジのタイミングがきても、ボールを交換しない。

以上となりますが、ルールブックでも確認を宜しくお願いします。

## 部長・監督会議について

11 月(未定)に部長監督会議という学連と各大学の部長や監督の方からアドバイスをいただく会議があります。学生の方々は参加する必要はありませんが、多くの部長・監督の方々に参加していただいて会議をより活発なものにしたいと思っています。ただだつて、春中四のキャプテン会議の時に部長・監督の連絡先を知りたいので、調べておいてください。ご協力よろしくお願ひいたします。